沿　　革

明治　4年　　丸尾文六氏が自宅に学問所･平章学舎（へいしょうがくしゃ）をつくる。
明治　6年　5月25日　民家を仮校舎に充て、静岡小笠郡池新田第一尋常高等小学校として創立。
明治22年　　池新田尋常小学校と称し、合戸区は千濱村に委託をする。
明治25年　9月　　高等科2ヶ年、補習科2ヶ年を併置し、佐倉･朝比奈･比木3ヶ村児童の委託を受け、33年解除となる。
明治38年　3月20日　塩原新田区、合戸区（七つ山を除く）を以て、第二小学校（高松）を設置した。これを期に池新田村立第一尋常高等小学校は池新田第一小学校と改名する。

第一小学校（池新田）【明治38年独立校以来の沿革概要】

明治40年　2月　1日　池新田第一小学校に手工科を加設する。
明治41年　4月　1日　池新田第一小学校を尋常科6ヶ年、高等科2ヶ年とする。
明治43年　6月　2日　池新田第一小学校に農業補習学校を附設する。
昭和　3年　4月　　笠南農業補習学校の併設を廃す。
昭和16年　4月　1日　池新田町立池新田東国民学校と改称。
昭和22年　4月　1日　池新田町立池新田東小学校と改称。
昭和30年　4月　1日　町村合併により浜岡町立池新田小学校と改称。



第二小学校（高松）【明治38年独立校以来の沿革概要】

明治38年　6月10日　第二小学校高等科を併置する。
大正　4年　8月　2日　高松山中腹に中校舎1棟落成。
昭和12年　4月14日　2階建1棟竣工。（普通教室5、応接室、職員室、裁縫室）
昭和16年　4月　1日　池新田町立池新田西国民学校と改称。
昭和22年　4月　1日　池新田町立池新田西小学校と改称。
昭和30年　3月31日　浜岡町立高松小学校と改称。



昭和45年　4月　1日　浜岡町立池新田小学校と浜岡町立高松小学校を統合して、浜岡町立第一小学校を創設。旧池新田小学校（現在地）に校舎の増築工事を始める。工事完了まで両教場に分かれて授業を行う。
昭和46年　1月　8日　実質統合完了。
昭和53年　3月24日　体育館新築。
昭和58年　3月30日　南校舎増築（9教室）工事完成。
昭和60年10月　5日　第二グラウンド完成。
平成元年10月14日　北校舎新築落成。
平成11年　9月20日　南校舎大規模改造（耐震補強）工事完了。
平成14年11月20日　第二グラウンド改修工事開始。
平成15年11月　5日　文部科学省指定研究「学力向上フロンティアスクール」1年次報告会。
平成16年　4月　1日　町村合併により御前崎市誕生。御前崎市立第一小学校と改称。
平成16年12月　8日　文部科学省指定研究「学力向上フロンティアスクール」研究発表会を行う。
平成20年　2月　5日　県移動教室委員会。
平成22年11月18日　御前崎市指定研究発表会「国語力を基盤とした言語活動」

概　　要

平成16年4月1日、浜岡町と御前崎町の二町が合併し、新しく御前崎市が生まれた。新市の誕生にともない、校名も浜岡町立第一小学校から御前崎市立第一小学校に変更された。本校の学区は旧浜岡町の池新田地区と高松地区という二つの地区からなっている。池新田地区は新市の中心に位置し、行政、商業地区として発展し、人口も集中している。一方、高松地区は新市の西方に位置し、農業が盛んな地域となっているが、近年は住宅地としても発展している。

昭和46年から相次いで建設された原子力発電所によって財政的に豊かな旧浜岡町は、町当局が学校教育の充実に力を注いできた結果、恵まれた教育環境が実現している。また、保護者や地域住民の教育への関心は高く、理解もあり協力的であるが、家族構成の変化や少子化、保護者の考え方や価値観の多様化等の問題もあり、学校としての働き掛け、啓発もしていく必要がある。